

島根県知事 丸山 達也 様

2024年9月

島根原発2号機を動かさない署名

【要請趣旨】

福島原発事故から13年。福島事故は人々の幸せとふるさとを奪い去りました。今年1月の能登半島地震、迫り来る南海トラフ地震をはじめ、頻発する地震に対し、県民の不安は高まっています。科学者は「日本列島は地震の活動期に入った」と警告しており、島根原発直下には140キロもの活断層（宍道断層、鳥取沖断層）が走っています。大地震が発生し、島根原発で事故が起きたら県都消失は避けられません。

住民の避難計画についても、医療・福祉関係者からは「大雨や地震に原発事故が重なれば大変なこととなる。マンパワーも足りない」「病気の人や高齢者にとって移動（避難）すること自体、命の危機につながる」との悲痛な声が出されています。

私たちは、何より命と安全を最優先するため、危険な島根原発2号機を再稼働しないよう強く求めます。

＜島根原発2号機を動かしてはならない主な理由＞

- ① 再稼働に対する県民の合意はありません。
- ② 県民の命を守る避難計画はできていません。
- ③ 核のごみ（使用済み核燃料）の処理方法は確立されていません。

【要請項目】

一、島根原発2号機を再稼働しないこと



氏名	住所

【取り扱い団体 日本共産党島根県委員会】

「島根原発2号機を動かさない」署名にご協力を

危険な老朽原発の再稼働をストップさせよう

中国電力は、島根原発2号機の原子炉に核燃料を入れる「燃料装荷」の作業を3日に終えたと言表しました。12月上旬に原子炉を起動し、来年1月上旬からの営業運転開始を予定しています。

日本共産党島根県委員会は、再稼働をストップさせるため、丸山達也知事宛てに提出する「島根原発2号機を動かさない」署名に取り組んでいます。

署名は11月25日に

大平喜信元衆院議員とともに経済産業省、原子力規制委員会、内閣府へ申し入れを行います。

申し入れは▼島根原発2号機を再稼働しないこと▼不正・不祥事続きの中国電力を厳正に指導、監視すること▼能登半島地震は地震・津波などの自然災害と原発事故が重なる複合災害時の避難が困難であることを実証した。現行の避難計画の実効性を再検証することなど7項目を予定。

11月21日には中国電力島根支社に申し入れを行い、▼島根原発2号



機再稼働を断念すること▼2号機でのプルサーマル運転は行わないこと▼中電社員・協力会社の社員に対し、①福島事故、能登半島地震の教訓②原発事故が国民の生存権、幸福追求権、財産権、居住権など基本的人権を奪った事実など安全教育を徹底的に実施することなどを求めます。

11月定例県議会 25日開会

尾村県議・一問一答質問、大田県議・一般質問

11月定例県議会は11月25日(月)に開会し、12月19日(木)までの25日間の会期で開かれる予定です。9月県議会に続き、決算審査が行われます。

11月県議会では、日本共産党の尾村利成県議は一問一答質問に、大田陽介県議は一般質問に立つこととしています。

尾村、大田の両県議の議会質問については後日、この「民主島根」で報じる予定です。なお、質問の様子

日	曜	日程
11	25	月 議運、本会議、決算特別委員会
	26	火 全員協議会
12	2	月 議運、本会議(一般質問)
	3	火 本会議(一般質問)
	4	水 本会議(一般質問)
	5	木 本会議(一般質問)
	6	金 議運、本会議(一問一答質問)
	9	月 本会議(一問一答質問)
	10	火 本会議
	11	水 決算特別委員会
	12	木 常任委員会
	13	金 常任委員会
	16	月 地方創生・行財政改革調査特別委員会
	17	火 中山間地域・離島振興特別委員会、決算特別委員会
	19	木 議運、本会議

会のホームページから生中継・録画中継されます。【島根県議会】と検索してください。

質問の傍聴にも、ぜひお越しください。

地域の話題

道路整備の充実を 奥出雲 川西町議が要求

川西明徳町議は、奥出雲病院前の交差点の交通安全対策について「町執行部が県に電光表示盤を設置させたものの、表示盤の表示間隔が長く読み取りにくい」として、早急、間隔を短くし、読み取れるよう改善されました。(「奥出雲町民報」より)

大田 訪問介護報酬 宮脇議員が討論

9月議会初日の本会議で「訪問介護基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を行うことを求める請願」につい

アソコ

津市立高校統廃合 津市議会が閉会中調査

10月16日、津江市議会の総務民生委員会が開催され、市内の県立高校の統廃合・再編について閉会中の調査が行われました。

島根県による津津高校と津津工業高校の統廃合・再編について協議している「GO・GOTSUコンソーシアム」の取り組みが調査の対象でした。

現在、県立高校の統廃合・再編については、それぞれ1学年2学級ある両校を統合し、新たに1学年4学級の高校を設置することを基本とし、うち2学級は文系・理系への進学と看護・栄養・保育での資格取得をめざす進学を目的とする普通科、残る2学級は機械・電気系学科と建築都市工学系とすることが想定されています。新設校の開設は2028年4月で、場所は現在の津津工業高校の所在地とされています。(「津市民報」より)